



第5号

# 鶴見民児協だより

平成28年4月発行 鶴見区民生委員児童委員協議会 会長 神保 修治 鶴見区鶴見中央3-20-1 ☎045-510-1791

**ご存じですか？民生委員・児童委員、主任児童委員**  
～地域の身近な相談役として活動しています～

## 地域福祉を担う ボランティアです！

皆さんの暮らす地域から推薦され、皆さんの立場に立って、様々な福祉活動を行うボランティアです

## 地域や困っている方の 見守り役です！

地域の状況を把握し、支援が必要な人が地域で安心して暮らせるよう、日常的に必要なに応じて訪問して、見守っています

## 関係機関への つなぎ役です！

地域の一員として、皆さんの心配事や困り事を一緒に考え、必要な機関へつなげます



何の木？



ちい“き”だよ

## \* 民児協とは \*

「民生委員児童委員協議会」

の略で、民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を推進するための団体です。

● 民生委員・児童委員についての問い合わせは ●

鶴見区役所 福祉保健課 運営企画係 電話：510-1791 FAX：510-1792

# せせらぎに集う OPEN!! サロンせせらぎ



寺尾第二地区民生委員児童委員協議会は、これまで、地域福祉発展の牽引役となるよういろいろなことに取り組んできました。そのひとつとして地区社協での活動があります。

昨年2月に行われた「あいねっと」の地域アンケートでは、地区社協で開催している「生き生きお食事会」「お楽しみ福祉大会」「老いも若きも健康づくり」などの行事が定着していることが現れていました。が、更にこの地区で期待されているものとして、継続的に“集える居場所を”との声がありました。そこで、それにお応えすべく立ち上げたのが、昨年新設された馬場地域ケアプラザでの高齢者サロンです。

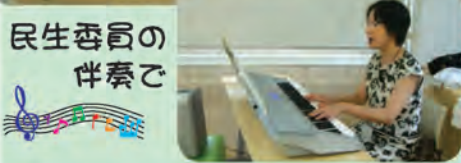
地域になじみのあるせせらぎ緑道にちなんで「サロンせせらぎ」と名付け、多くの皆様楽しんで頂けることを企画しました。参加費は無料で、美味しいコーヒーや緑茶・紅茶などを飲んでいただき、軽い運動、季節に合った制作や全員で歌える歌声喫茶、食の講座などを実施しています。

訪問活動の中でのお声かけから、サロンの企画・運営まで民生委員が中心になって活動しています。

## 6月 開所式のと、七夕飾りの制作



## 7月 歌声喫茶



民生委員の伴奏で

## 9月 ハワイアンバンド演奏



## 10月 食の講座



毎日の食事のバランスが大切です!

## 11月 お正月リース作り



小学生が助人来てくれました

**日時** 毎月、第3木曜日  
午前10時～正午  
(8月、1月はお休み)

**場所** 馬場地域ケアプラザ



● JR京浜東北線「鶴見駅」より  
臨港バス 鶴12系統  
「上の宮一丁目」・「馬場七丁目」下車3分

参加者の「サロンの終わりにみんなで歌を」の声からテーマソング『せせらぎに集う』ができました。

民生委員児童委員の詞に、地域の小・中学校を卒業し、現在東京藝術大学で作曲の勉強をしている平田もも子さんが曲をつけてくれました。



# 地区紹介

鶴見区民生委員児童委員協議会(区民児協)は、17の地区民生委員児童委員協議会(地区民児協)から構成されています。今号では、**市場第二、潮見橋、潮田西部、豊岡、寺尾、上末吉**の6地区をご紹介します。



## 市場第二地区

安全で安心で  
笑顔が見られる町に



市場第二地区は6自治会、約6,500世帯でなっており、半数はマンション世帯と思われます。新しいマンションは若い人が多く、児童が急増中です。地域にある市場小学校は増築するも近い将来収容不能になりそうな状況で、近隣にもう一校作る予定です。その一方で見守りが必要な高齢者も増加傾向にあり、町並みは密集し、道路も狭いので災害時には心配です。

### イベント・活動紹介

見守り活動や地域の行事への参加・協力等様々な活動をしています。

- 一人暮らし高齢者会食会(各自治会年2回)
- 災害時要援護者安否確認救護訓練
- 市場地域ケアプラザゆうづるの「夏まつり」
- 市場第二地区青少年音楽祭(小中学生～社会人)
- 障害者活動ホームもちつき大会
- 尻手よちよちクラブ(0歳児、月1回)
- その他…各自治会でされる餅つき、お花見大会、さわやか運動やオール市場運動会、熊野神社祭礼等、市場第二地区、各自治会のイベントには民生委員が積極的に活動、参加しています。



高齢者会食会



## 潮見橋地区

昔も今も皆家族  
(あったかいんだから～！)



潮見橋地区は平成28年に90周年を迎える横浜市立下野谷小学校とともに歴史を刻んできた下町です。おせっかいおじさん、おばさんも少なくなりましたが、義理と人情があつい町です。永井会長、福田副会長を中心に15名の民生委員、主任児童委員が活動しています。

### 活動紹介

一人暮らし高齢者  
訪問、見守

認知症の方の見守り  
(認知症キャラバンメイト  
の委員が2名います)

学援隊  
(子どもたちの  
見守り活動)

地域が団結し、輪になってます！



しおみふれあいルーム  
(健康マージャンが人気)

ちびっ子広場での支援  
(親子で楽しいひと時を！)

研修会や講演会、  
地域の行事の  
参加、協力



## ひまわりサロンのご紹介

## 生麦第二地区

買い物やちょっとした空き時間に誰でも気軽に立ち寄れる場所として、平成27年4月に東寺尾第二会館(東寺尾2-6-4)にオープンしました。毎月第二金曜日午後1時から午後4時まで開いています。東寺尾第一、第二、第三の三町会合同で設置したサロンで民生委員や保健活動推進員等が中心となって運営にあたっています。毎回40数名が参加、おしゃべりをしたり、歌を歌ったり、ゲームを楽しんだり、和やかな雰囲気です。今後は健康に関するミニ講演会や高齢者と小中学生との交流等を計画しています。一杯のコーヒーから人と人とのふれあいを通じて、より一層、地域への愛着が深まる、そんなサロンを目指しています。



ひまわりサロンの様子



## 潮田西部地区

### 「声かけで繋がりある町づくり」 に取り組む

潮田西部地区では、5町会で約1,700世帯あり、5名の民生委員と2名の主任児童委員が活動しています。

毎月の定例会では、連絡事項の伝達や各委員の活動内容を確認し、地域の問題や課題の話し合いをする時間を多くとっています。少子高齢化による課題や問題は年々多くなっていますが、誰もが「住み慣れた町で安心して暮らせる」ことを目指して地域の見守り役、各機関とのつなぎ役となれるよう取り組んでいます。特に社会福祉協議会の事業を積極的に支援し、老人クラブや消費生活推進員などの各種団体や個人ボランティアと連携を取っています。

また、主任児童委員は、毎月1回、年11回の「おのしおキッズ」で、ボランティアと協力して、「子育て世代」の支援を行っています。

そして民生委員は日頃から「声かけ」に力を入れております。加えて日頃から老人クラブに協力を頂きながら、「高齢者会食会」も行っており、約70名の参加があります。参加者からは、「また参加したい」、「他町会のお友達が出来た」などの声をいただきました。災害時にもこうしたネットワークづくりが大切と考えております。



活動紹介

毎回大好評の高齢者会食会



## 豊岡地区

### 顔の見える関係づくり に奮闘中！！



豊岡地区民児協は JR 鶴見駅の西側近くの7町会のエリアからなっており、民生委員18名、主任児童委員2名が、地域の見守り役として活動しています。情報共有や意見交換などを行う定例会を年間10回、知識向上のための施設見学を年2回程度、実施しています。

また、「元気な町づくり」を目指して、区役所、鶴見中央地域ケアプラザとの共催で「元気づくり講座」を春秋の2回開催しました。専門家をお呼びして「ロコモ予防」、「口腔衛生」のテーマで多くの方に参加いただき、話を聞くことができました。

活動紹介

いつまでも  
元気で！  
気功体操



活動紹介

防災訓練の様子



そして、災害時の対応については、スムーズな支援活動を行うためには、日頃から顔の見える関係づくりが欠かせません。東日本大震災の体験を元に、緊急時の委員間の連絡体制を整え、民生委員と町内会が協力して要援護者の安否確認ができる体制を整えるよう努めています。

豊岡地区民児協は、常に地区の方々の「身近な存在」でありたいと願いながら、活動を続けていきます。



なま いち

## 《生一育児支援イベント》あつまれ！えがおのご紹介 生麦第一地区

生麦第一地区では、8月と12月を除く第4月曜日の午前中生麦地区センターで、「ふらっとるーむ「生麦にここサロン」」を開いており、地域の皆さんや子育て中の親子が手作りおもちゃ、保育園児による歌や手遊びなどをして、楽しんでいます。夏には赤ちゃんのための防災講座も行われます。また、毎年10月には区役所主催で、周辺保育園の保育士さんを中心に、生麦地域ケアプラザにおいて「《生一育児支援イベント》あつまれ！えがお」が開かれます。手作りおもちゃや、保育士さんによるお楽しみの遊び、保育園や子育て情報の提供、おもちゃの作り方、食事、離乳食のレシピ配布、子育て相談などを行います。にここサロンは通常は20組前後の参加ですが、平成27年10月の生一育児支援イベントは40組の参加がありました。



【生一育児支援イベント】あつまれ！えがおの様子



## 寺尾地区

### 民生委員による 地域福祉活動について



寺尾地区の各町会・自治会では一人暮らし高齢者を対象とした様々な福祉活動が行われています。民生委員は昼食会のお手伝いやお楽しみ会の企画など積極的に参加しています。会場は主にケアプラザや町内会館を利用していますが、「会場まで行くのが、遠くて大変で…」という方の声に、それならと個人宅を開放して福祉活動に取り組んでいる民生委員を紹介します。ご自宅にある姫娑羅(ひめしゃら)の木から「娑羅(しゃら)の会」と名付け活動しています。

#### 主催者談

「東台の自宅で第2第4水曜日の午前中、体操と茶話会を楽しんでいます。最近は、牛乳パックで作る椅子作りに挑戦し、完成させました。高齢者に寄り添いながら、ここを憩いの場にしていきたいと考えています。」



牛乳パックで作った椅子

#### 作業風景



棒体操の様子

私たち民生委員は、これからも一人暮らしの高齢者の方々の安心・安全を考え、活動していきたいと思えます。



## 上末吉地区

### 心地よい繋がりで 支えあう町づくり!!



上末吉地区民児協は、三ツ池公園と鶴見川に面した7町会からなっており、民生委員16名、主任児童委員2名が活発に活動しています。

毎月1回行っている「一人暮らし高齢者の会食会」と9月の「敬老のつどい」は常に会場が満席になり、会食会の参加者には「来月も楽しみに参加します!!」と喜んでいただいています。

また、今年、特に力を入れた活動は、防災訓練です。いつ起こるかわからない災害への不安を少なくするには、「災害は今起きている!!」という気持ちで真剣に取り組み、新しい知識を繰り返し習得し、いざという時には「自分たちの命は自分たちで守る!!」という気持ちが大切です。

いざという時には、私たち民生委員は、地域の身近な相談役として、地域の皆さんの心に寄り添い、気持ちを分かち合えるよう活動します。



#### 活動紹介

防災訓練の様子

若いお母さんも参加!!



## きらく会(駒岡地区の一人暮らし高齢者会食会)のご紹介 駒岡地区

毎月(8、9月除く)、第2水曜日に駒岡地区センターにて行われています。駒岡地区にお住いの65歳以上の一人暮らし高齢者が対象で、みんなでお昼を食べて、親睦を深めていただく集まりです。参加者の皆さんには婦人部が作った季節感のある心こもった食事をお腹いっぱい食べていただいております。また、ケアプラザの看護師の血圧測定や健康に関するお話、オレオレ詐欺などその時々話題になっているお話、ハーモニカの伴奏でみんなで合唱など、楽しいひと時を過ごしていただいております。



「きらく会」での食事会

# 研修会の報告



## 全体研修 (平成27年7月8日開催)



鶴見区役所担当係長による講演

全民生委員を対象とした全体研修が鶴見公会堂で開催されました。1部は平成27年4月から始まった「生活困窮者自立支援制度」について、鶴見区役所生活支援課の関口生活支援担当係長にご講演いただきました。

この制度は、様々な事情により生活に困難な状況がある方が自立に向かっていただけるよう支援する制度です。制度が開始され2ヶ月で延べ101件の相談があり、特に鶴見区は若い世代(稼働年齢層)の人が9割を占めています。相談内容は多岐に渡りますが、仕事に関する相談が最も多くなっていますが、ハローワーク事業との連携により、多くの方が就職しています。

2部は「鶴見・あいねっと」について、鶴見区役所福祉保健課松下事業企画担当係長にご講演いただきました。この計画は、「人と人とのつながり」や「顔の見える関係づくり」を進め、お互いに支えあえる町づくりを目指しています。

研修会が終了し、私たち民生委員もこの研修を参考に、もっと住民の相談に乗れるよう、努力していきます。

## 特別養護老人ホーム「旭ホーム」見学

(平成27年11月5日開催)

民生委員の研修で旭区にある特別養護老人ホーム「旭ホーム」を訪問しました。旭区は施設の数が多く、従業員を確保するのが困難な、言わば横浜市内での老人ホーム激戦区です。だからこそ提供されるサービスがきめ細やかなのかと想像されます。

旭ホームは、建物は歴史を感じさせる物でしたが、中は、全体で50床余りと小規模なこともあり、アットホームな印象でした。利用者の方のこの施設での時間を「人生で一番大切な時間」と位置づけ、「家族愛」に徹した取り組みに感銘を受けました。管理栄養士や介護士さんなど、スタッフの皆さんの思いあふれる生の声が伺え、とても有意義で心温まる研修でした。

特別養護  
老人ホーム  
「旭ホーム」



## 災害時要援護者支援事業研修 情報共有方式の概要と実施状況

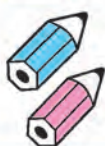
(平成28年2月17日開催)

災害時要援護者支援事業について研修が行われました。災害時要援護者支援事業では、地震などの災害時に支援が必要な方の名簿を行政が地域の防災組織に提供し、地域防災拠点での要援護者の救護訓練や日頃の見守り活動に名簿が活用されております。民生委員も地域の一員として救護訓練や見守り活動に協力しております。今回の研修では、災害時要援護者支援事業に対する理解を深めることができました。この研修を活かして、今後も災害時要援護者支援事業に協力していきたいと思っております。



研修会の様子

編集  
後記



「つるみ民児協だより」第5号をお届けします。今号は、毎号掲載している民生委員・児童委員、主任児童委員の役割や各地区民生委員協議会の紹介に加え、地域で民生委員が行ったり、協力している地域福祉活動を紹介させていただきました。今回紹介した活動以外にも様々な活動を民生委員が行っております。今後も民児協だよりで紹介していきますので、今後よろしくお願いたします。

(永井和男)

## 【広報・研修部会員】

永井和男(部会長)・渡邊薫子(矢向)・永井恒雄(市場)・森田美佐子(市場第二)・金國知津子(鶴見中央)・滑川一布(潮田中央)・山本恵子(潮田東部)・山田あゆみ(潮見橋)・吉澤真一(潮田西部)・小林政晴(小野町)・新井容子(生麦第一)・山崎省三(生麦第二)・塩田裕子(豊岡)・眞々田隆子(寺尾)・皆川慈保(寺尾第二)・横須賀治夫(駒岡)・小宮山真理子(上末吉)・星範雄(下末吉)